

第29回

うつのみやこども賞だより

平成24年度 第5回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『ポテトサラダ』

福明子／著 （学研教育出版）

～読んだ本の感想より～



●ポテトサラダに対するケイクんの気持ちを大切にする周りのみんなの行動に感動しました。ケイクんはみんなの人気者だなと思いました。「命のサラダ」という言葉に感動しました。

●ぬいぐるみのトントンが、ケイクんのところまで飛んで行こうとしたところが感動しました。一番最後にお客がいっぱいきてよかった。

●題名から、どんな本かを想像できなかったのでどんどん読めた。ぬいぐるみ視点なので読書に慣れていない人も楽しく読めると思う。

●おじいさんが心をこめて作ったポテトサラダを

病気のケイクんが食べたら、すっかりよくなったところが感動しました。

●ケイクんとトントンの友情に感動しました。そして、おじいちゃんとおばあちゃんはやさしくていい人だな～と思いました。

●ケイクんの命を救ったポテトサラダを食べてみたいです。

●最後にケイクんたちが精肉店のせんでんをしているところがよかった。

『グッバイ マイ フレンズ』

福田隆浩／作 （講談社）

●亡くなってしまったタクヤくんの思い出をさまざまな人たちが語っていて、とても読みやすかったです。切ないけれど、とても心が温まる物語でした。

●この本は、とても感動する本でした。クラスみんなの友情というか、なんか、とても「きずな」の強いクラスだと思いました。

●いろいろな人の視点で描かれていてよかった。

●亡きタクヤくんを様々な立場の人が語っていて、分かりやすかったです。

●タクヤくんが海で波にさらわれて死んでしまった後、クラスの皆とタクヤくんの友情が描かれていてよかったです。

●なくなった友達のおかげで、人生の本当の意味にきづくところがよかった。

『バク夢姫のご学友』 柏葉幸子／作 （偕成社）

●夢姫と五月がキラのやしきにきてしまっ、どぶねずみのプップや黒雲の角たちとぼうけんしていくのが、ハラハラ&ドキドキしました。

●五月たちが劇をやるところがたのしかった。

●バクの話し方がおもしろい。

●おもしろかった。電話がかかった時は、ふしぎに思った。

●バクと出会ってからがおもしろかった。

『ゆびわがくれたプレゼント』

田沢五月／作 （ポプラ社）

●香菜がかしてもらった指輪のふしぎな力におどろいた。この本はいろんな愛情がつまっている本だなと思いました。

●貝がらのゆびわが、月の光でまほうを使えるなんて、すごいと思った。

●香菜が海の神様のこどもとあって、夏休みの間にすごく成長したなと思った。